

温泉めぐり…秘湯・悠湯・ゆけむりの郷さとをご紹介します

水平線から昇る朝日が最高 & 殺菌作用抜群の 晩成温泉(十勝大樹町)

札幌支部 堀田 清
北海道医療大学・薬学部准教授

私が十勝太平洋沿岸沿いの植物調査の際によく使う温泉を紹介しましょう。

温泉の名前は、晩成温泉。大樹町の太平洋の波打ち際に湧き出す温泉で、泉質はナトリウム-塩化物泉です。ただし、単なるしょっぱい温泉ではなく、お湯の色が茶褐色なのです。

茶褐色の正体は、ヨウ素イオンの色で、12.2ppmほど含有されています。ですから、まるでしょっぱいイソジン液のお湯に浸かっている感じで「ああ～、体が殺菌されてるぞい！」という感覚がたまりません。

晩成温泉の地図です。



晩成温泉のすばらしい特徴を4つほどあげておきます。

- ① 大樹町から約24kmほど離れた海岸線に位置する温泉で、周囲には酪農家の家があるだけでとても静かです。
- ② 聞こえてくるのは寄せては返す波の音だけです。
- ③ 晴れた日には水平線から昇り来る太陽がすばらしいです(夏の霧の季節は除く)。
- ④ 海岸線の道端には、春はスズランから始まり秋のコハマギクまですばらしい旬の植物たちが咲き乱れます。



なんといっても有名な観光地ではないので、人気は少なく、道端の旬の植物たちを愛でながら一人瞑想しつつ歩いていると日常の雑念がどんどん消えていくのがいいですね。

植物たちを堪能した後、太平洋を眺めながらヨードのお湯にたっぷり入って鋭気を養うには絶好の温泉といえましょう。



太平洋を一望できる浴場

浴場には露天風呂はありませんが、太平洋が一望できる大きな浴槽とジェットバス、高温風呂(43度)、高温サウナがあります。またテラスがあり、水平線いっぱいに広がる太平洋の大海原を目の前に見ることができます。サウナなどで汗を流した後、火照った体を冷やすには最高です。

館内にはレストランとその横にある大きな休憩所でゆっくり寛ぐこともできます。

レストランのメニューは豊富で、大樹町を代表する食材であるチーズと秋鮭(サーモン)を組み合わせた新・ご当地グルメ「大樹チーズサーモン丼」(天井御膳)もお勧めの一品です。

宿泊施設は温泉の向かいにある晩成の宿「原生花園」。宿泊代は、なんと、一泊3,000円也(朝食は別途300円)!



古い建物ですが、お部屋はきれいです。夜は本当に静かで遠くで潮騒が聞こえるだけ!ととてもよく眠れます!



太平洋の水平線から昇る朝日(大樹町晩成)

また、大樹町や中札内村で十勝の美味しい肴とお酒を仕入れ、夜が更けるまでしみじみするのも良いかもしれません。

手付かずの原生花園の中にある温泉といっても過言ではなく、6月～9月まで温泉周辺にはさまざまな植物たちの花が咲き乱れます。何かの機会にぜひ!

晩成温泉 (北海道広尾郡大樹町字晩成2)

電話: 01558-7-8161

Fax: 01558-7-8160

入浴料: 大人 500円

中学生 300円

小学生 200円

休館日: 4月～9月

(第2・4火曜日)

: 10月～3月

(毎週火曜日)

(編集委員会委員)